

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
埼玉県生活交通確保対策地域協議会	事業者: 国際興業株式会社 系統: 飯03-2系統(主系統) 飯能駅～名郷	運行区間: [起点]飯能駅 [主な経由地]名栗車庫 [終点]名郷	目標達成継続に向けて飯能市と協調し、地域住民や観光客を取り込むよう生産性向上の施策を中心に取り組みを行った。	A 大型台風による計画運休や新型コロナウイルス感染症に係るダイヤ変更はあったものの、事業は概ね適切に実施された。	C 輸送人員について、事業対象期間(令和2年度)の目標332,080人に対して実績278,014人であり、目標を下回った。 大型台風による10～11月のハイキングコース被災、3月以降の新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。又、目標は定期券計上方法見直し前の実績を基にしているため乖離が大きい。(前年比は約1万人の減)	・次年度は目標達成ができるように、新型コロナウイルスの状況を見ながらではあるが、生産性向上の施策を実施し、増取となるよう沿線自治体である飯能市と連携をして取り組んでいく。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・関係市町村と連携し、生産性向上の取組を実施しており評価できる。観光客を含めた交流人口への利用促進策については、来訪者の動向を調査し分析を行った上で、効果的な利用促進策の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	
	事業者: 朝日自動車(株) 系統: 五霞町役場～幸手駅	[起点] 五霞町役場 [主な経由地] 桜まつり会場(まつり開催時) [終点] 幸手駅	①幸手市のホームページにて、権現堂で開催されるイベント情報へのアクセス者にバスでの交通手段を掲載したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月以降の各イベントは中止となった。 ②令和元年12月にバスロケーションシステムを導入した。	B 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が計画に位置づけられたとおり実施することができなかった。	C 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標48,341人に対して実績は43,743人となり目標は未達成となった。	・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。 ・桜まつり開催時は渋滞が発生するため、関係各所と連携しバスの定時性確保を図り利用増に繋げる。 ・高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・「企画乗車券」及び「高齢者定期券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	
	事業者: 朝日自動車(株) 系統: 本庄駅南口～児玉折返し場・赤城乳業千本さくら工場	[起点] 本庄駅南口 [主な経由地] 蛭川 [終点] 児玉折返し場・赤城乳業千本さくら工場	①令和元年9月～10月と令和2年3月～4月の共通学生フリーバス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②令和2年7月に「赤城乳業千本さくら工場」へ路線を延伸した。 ③令和元年12月にバスロケーションシステムを導入した。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	B 路線の延伸は実現したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標198,694人に対して実績は164,232人となり目標が未達成となった。	・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。 ・引き続き共通学生フリーバスの販売促進を図る。 ・高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・「企画乗車券」及び「高齢者定期券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	
	事業者: 朝日自動車(株) 系統: 宮本町車庫～児玉折返し場・赤城乳業千本さくら工場	[起点] 宮本町車庫 [主な経由地] 本庄駅南口 [終点] 児玉折返し場・赤城乳業千本さくら工場	①令和元年9月～10月と令和2年3月～4月の共通学生フリーバス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②令和2年7月に「赤城乳業千本さくら工場」へ路線を延伸した。 ③令和元年12月にバスロケーションシステムを導入した。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	B 路線の延伸は実現したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標60,600人に対して実績は55,918人となり目標が未達成となった。	・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。 ・引き続き共通学生フリーバスの販売促進を図る。 ・高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・「企画乗車券」及び「高齢者定期券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

埼玉県生活交通確保対策地域協議会	<p>事業者: 朝日自動車(株) 系統: 本庄駅南口～神泉総合支所</p>	<p>[起点] 本庄駅南口 [主な経由地] 小島南・沖電気前 [終点] 神泉総合支所</p>	<p>①令和元年9月～10月と令和2年3月～4月の共通学生フリーバス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②沿線施設と協議し企画乗車券導入を検討中。 ③令和元年12月にバスロケーションシステムを導入した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。</p>	C	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標133,601人に対して実績は125,016人となり目標が未達成となった。</p>	<p>・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。 ・引き続き共通学生フリーバスの販売促進を図る。 ・沿線施設との企画乗車券を導入し観光需要を取込む。 ・高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。</p>	
	<p>事業者: イーグルバス株式会社 系統: W01 小川町駅・白石車庫</p>	<p>運行区間: [起点]小川町駅 [主な経由地]和紙の里 [終点]白石車庫</p>	<p>前年の事業評価結果に基づき、引き続き沿線イベントの参加者や公共交通会議委員、沿線町村職員への路線バス利用喚起を沿線町村と連携し実施したが、2019年10月の台風19号による災害や新型コロナウイルス感染拡大によるイベント及び行事の中止等があり、計画どおり実施できない取り組みもあった。</p>	B	<p>台風による災害や新型コロナウイルス渦により、事業が計画に位置付けられたとおり実施されていない点があった。</p>	C	<p>台風による災害や新型コロナウイルス渦により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標56,696人に対して実績は37,179人となった。</p>	<p>・新型コロナウイルス渦の収束状況に鑑み、東秩父村、小川町、寄居町と連携し、引き続き令和2年度同様の路線バス利用喚起策を実施する。</p>	<p>・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・「片道無料乗車券」の発行は、沿線住民の行動の変化が期待できることから評価できる。引き続き効果的な利用促進策を実施することが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県にイニシアチブを取っていただくことが重要であることから、市町村と連携を図ったうえで、データを活用しながらモニターを行い、必要に応じて改善していくなど、最適なネットワークの構築に向けて継続的に議論がなされることを期待する。</p>
	<p>事業者: イーグルバス株式会社 系統: W02 小川町駅・和紙の里</p>	<p>運行区間: [起点]小川町駅 [主な経由地]バトリアおがわ [終点]和紙の里</p>	<p>前年の事業評価結果に基づき、引き続き沿線イベントの参加者や公共交通会議委員、沿線町村職員への路線バス利用喚起を沿線町村と連携し実施したが、2019年10月の台風19号による災害や新型コロナウイルス感染拡大によるイベント及び行事の中止等があり、計画どおり実施できない取り組みもあった。</p>	B	<p>台風による災害や新型コロナウイルス渦により、事業が計画に位置付けられたとおり実施されていない点があった。</p>	C	<p>台風による災害や新型コロナウイルス渦により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標22,978人に対して実績は17,863人となった。</p>	<p>・新型コロナウイルス渦の収束状況に鑑み、東秩父村、小川町、寄居町と連携し、引き続き令和2年度同様の路線バス利用喚起策を実施する。</p>	
	<p>事業者: イーグルバス株式会社 系統: W03 和紙の里・寄居駅</p>	<p>運行区間: [起点]和紙の里 [主な経由地]かやの湯前 [終点]寄居駅</p>	<p>前年の事業評価結果に基づき、引き続き沿線イベントの参加者や公共交通会議委員、沿線町村職員への路線バス利用喚起を沿線町村と連携し実施したが、2019年10月の台風19号による災害や新型コロナウイルス感染拡大によるイベント及び行事の中止等があり、計画どおり実施できない取り組みもあった。</p>	B	<p>台風による災害や新型コロナウイルス渦により、事業が計画に位置付けられたとおり実施されていない点があった。</p>	C	<p>台風による災害や新型コロナウイルス渦により利用者が大幅に減少した結果、輸送人員の目標13,293人に対して実績は9,828人となった。</p>	<p>・新型コロナウイルス渦の収束状況に鑑み、東秩父村、小川町、寄居町と連携し、引き続き令和2年度同様の路線バス利用喚起策を実施する。</p>	

第三者委員会における各委員からの意見

令和2年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。  
 ○コロナによって日常の行動変容が起きているが、ポストコロナにおいても、人々の移動を戻していかなければ、街の活性化はない。移動する仕掛けが必要であり、地域戦略が必要。  
 ○地域公共交通会議の枠組みを最大限活用していただきたい。MaaSの発想、考え方でいろいろな交通手段や活動を繋げていくこと、あるいは、様々なデータをオープンにして共有し、課題を可視化することも公共交通会議で可能。  
 ○デジタル化はニーズを捉える重要なツールであり、マーケティングのツールとしても非常に重要。